



NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

2015
10月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | 二言三言～伝統行事「花泉互市」を通じた地域づくり～
- 4 | 団体紹介～上折壁子供打ち囃子保存会～(室根)
- 5 | 地域紹介～山目 銅谷民区～(一関)
- 6 | 企業紹介～松川町郵便局～(東山)
- 7 | センターの〇〇～いちのせき市民フェスタ 15～

フタコ×ミコト 第17回 二言三言 26/123,045

伝統行事「花泉互市」を通じた地域づくり

対談者 花泉中央振興商店街協同組合 理事長 伊藤満明 さん
聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

商店街組合が続ける伝統の互市

【小野寺】伊藤さんは現在、花泉中央振興商店街協同組合（以下「組合」）の理事長を務められています。組合の目的や組織についてお聞かせください。

【伊藤】この組合は、主に花泉駅前通りに店舗を構える商工業者達の集まりで13年前にできました。組合員のために必要な共同事業を行うこと、地区内の環境の整備改善を図るための事業を行うことにより組合員の事業の健全な発展に寄与すること、あわせて公共の福祉の増進に取り組むことなどを目的としています。商店だけではなく、自動車整備業、旅館業を営む組合員もいますが、以前は40名を超えていた会員数は現在31名です。



花泉中央振興商店街協同組合
理事長
伊藤 満明 さん

【小野寺】時代の流れで店を閉めざるを得なくて退会されたのかと思います。組合ではどのような事業を行っていますか。

【伊藤】販売促進に関する事業として春・秋の互市開催、共同駐車場の維持管理事業として商店街の駐車場管理、ふれあい商店街づくり事業として商店街スタンプラリー事業、福利厚生事業として花泉夏祭り「日本の餅つき大会」参加などの事業を行っています。また、商店街の振興を図るための研修会に組合員が参加しています。またその逆で、こちらに視察に来られて対応することもあります。一昨年には花巻市の亀ヶ森

振興センターから来られ、互市を例に農産物や特産品の販売方法について話しました。

【小野寺】組合の事業として互市を開催しているわけですね。互市の始まりについてお聞かせください。

【伊藤】花泉互市は現在、花泉駅前で行っていますが、ここで行われるようになったのは30年位前からです。互市の始まりは藩政時代からと言われ約250年の歴史があります。花泉町は海と陸との中間に位置し、それぞれの物品が交換しやすい場所だったのだらうと思います。そのために涌津や日形などで海の物と陸の物とをお互いに交換する形の市が発生したようです。それが「互市」で、海の物がこちらに持ち込まれ、こちらで取れた陸の物と物々交換する形から始まったと言われています。それがしだいに金での売り買いに変わってきました。また、交通事情の変化に伴い道路使用も制限されるようになり、町1カ所で開催する今の形になりました。駅前通りで開催する前には役場通りで開催していたこともあります。

【小野寺】このような互市はよそでも行われているのでしょうか。

【伊藤】岩手県ではここ花泉だけです。宮城県では北部の地区で何カ所もあり、鹿島台（大崎市鹿島台）や田尻（大崎市田尻）が有名です。隣の栗原市でも、若柳や高清水などで行われています。

安全・安心な互市でお客を楽しませる

【小野寺】互市を開催するために組合としてはどのような準備を行うのでしょうか。

【伊藤】互市は毎年春と秋の2回開催し、春は4月1～3日、秋は11月1～3日のそれぞれ3日間です。これは曜日に関係なく、毎年期日固定で行っています。開催に当たっては、組合の中に花泉互市実行委員会（以下「実行委員会」）を作り、6人の委員で準備を行います。開催2か月前には出店者の募集を始めます。出店する場合は、申請手数料や広告宣伝費として

8,600円納めてもらいます。毎回出店する人には優遇措置があり、納入額は2,000円少なくしています。締め切り後に出店許可申請受付を行います。これは、道路使用許可の申請で、実行委員会一括申請ではなく、出店者個々が警察に申請します。この場合、警察署から出張してもらい、私の店の倉庫を会場に行っています。警察が出店者個々を面接することで、犯罪などのつながりなどをチェックしているようです。



【小野寺】互市を安全・安心に運営するために、実行委員会ではどのような取り組みをしていますか。

【伊藤】出店場所は実行委員会で決めます。様々な出店品目があるので隣り合わないよう工夫します。継続する店は毎年同じ場所に固定します。毎回来るお客さんが分かるようにするためです。出店者には実際に開催場所を見てもらい、実行委員会が細かな注意事項を説明します。例えば、開店・閉店時間は実行委員会の指示に従う、閉店後の屋台や販売台は道路の側帯線から出さない、ゴミは出店者が持ち帰るなど。また、ガスやガソリンなどの燃料を使用する場合は、業務用消火器の準備や届出書の提出を義務付けています。

【小野寺】お客さんや出店者が安心・安全に互市を行えるように組合が配慮していることが分かりました。互市の3日間、まち中の様子はどうか。

【伊藤】駅前商店街にこんなに人が集まるかと思うほど、まずは人が集まります。盆や正月に実家に来る代わりに、互市に合わせて足を運ぶ人もいます。また、お嫁さん方は里帰りする口実にもなっています。年2回の開催で人出の合計はおよそ5万人で、一つのお祭りですね。春の方が野菜苗や花苗、植木などの出店数も多くて100店ほど、人出も多いようです。人出をもっと多くするためには行政に入ってもらい、手伝ってもらう方法もあると思いますが、入っておらず組合の6人で準備や運営をしています。

【小野寺】長い歴史のある互市に行政が入らず、一組合だけで続けて来られていることを初めて知りました。凄い事ですね。

【伊藤】商工会議所も入っていません。今年春の互市のチラシがここにありますが、主催は当組合、後援に

仙北街商協同組合となっています。3年ほど前に、花泉互市の名前を書いたのぼり旗を市の方から買ってもらいました。花泉の町中に立てて宣伝できるようになり大変助かっています。

互市を通じて地域を元気にしたい

【小野寺】組合の悩みや課題にはどのようなことがありますか。

【伊藤】どこでもそうでしょうが、組合員の高齢化が進んでいます。後継者がいなくて店をやめる所も出てきて組合員も減ってきています。商店街の活性化が進まないのが正直な話です。

【小野寺】伝統ある花泉互市は伊藤さんにとってはどんな存在ですか。

【伊藤】生きがいですね。商店街に店が並び沢山のお客さんが行き来する姿を見ると毎回やって良かったと思います。互市の良い所はお客さんとの会話で、話のやり取りで値段が決まるなど普段の買い物と違った楽しみがあります。そして、互市を楽しみにして遠くの方から毎年来るお客さんもいます。また、お客さんに教わることもあります。「年取って大きな束の野菜苗を持ち帰るのが大変だ」と言われ、小分けにして販売するようにして喜ばれました。

【小野寺】これからの花泉互市をどのようにしたいと考えていますか。

【伊藤】長く続いてきた互市を絶やさないようにしたいと思います。互市期間中に花泉駅前が賑わうことで地域も元気になってくれていると思います。お客さんが多い方が良いでしょうが、正直これ以上増えても困ることがあります。それは駐車場がいっぱいになってしまうことで、駐車場以外の周辺の道路に止めることで苦情が来ることもあります。

【小野寺】互市にかかる伊藤さんの思いを強く感じました。課題を解決するために私どもも一緒にお手伝いをさせていただければと思います。



花泉互市の様子

基本情報

【花泉中央振興商店街協同組合】

事務局：〒029-3101

一関市花泉町花泉袋 5-10 イトウストア一内

TEL：0191-82-2437

上折壁子供打ち囃子保存会

団体 紹介



会長 鈴木 学さん
次女の舞さん

～基本情報～

- ◆会 長：鈴木 学さん
- ◆連絡先：〒029-1202
一関市室根町矢越字千刈田 66-1
- ◆電 話：0191-64-2318

地域の子供たちは地域で育てる

伝承活動を通じ世代間の交流を図る

打ち囃子が盛んに行われている陸前浜の影響を受けて、旧東磐井地域には沢山の打ち囃子が地区や集落の郷土芸能として古くから受け継がれています。

お囃子とは、簡単に言うと「祭りばやし」のことで太鼓や笛の音色で人々の心をはやらせ、お祭りを盛り上げるもの。太鼓演舞は基本的に山車（だし）の上で行うものだそうで、ここ室根地域でも古くから各地区ごとに神楽や打ち囃子・七福神舞などが伝わっており、その土地の潤いや五穀豊穡を願い、山の神々への感謝を舞や太鼓の音に表してきました。

上折壁子供打ち囃子保存会は、昭和 59 年に集落に伝わる打ち囃子の伝承活動として、子供会育成会を中心に活動していましたが、昭和 61 年からは「子供たちに郷土理解と芸能の素晴らしさを伝え、世代間の交流を図る」ことを目的とし、上折壁地区の小学生から中学生までを対象に同保存会を立ち上げました。

親から子へ 子から孫へ

「現在練習に励む子供たちの親世代は、やはり小学生時代にこの保存会で指導を受け、郷土芸能に親しみや誇りを持って活動してきました」と語るのは同保存会 30 代目会長を務める鈴木学さんです。

「昭和 40 年代後半頃までは、大人が引き継ぐ伝統芸能でしたが、時代の変化や少子高齢化を目前に『地域の子供たちは地域で育てよう』という我々の祖父母世代の思いもあったようです」と振り返ります。

現在の指導者 3 名は、60 歳代・30 歳代・20 歳代と世代間の継承もできており、「なにより親たちが経験者ですから、教えにも力が入ります」と続けます。

同保存会は、森は海の恋人植樹祭をはじめ、自治会

の夏祭り、産業文化祭など地域行事に多数参加しており、東北名大荒祭りの一つ「室根神社特別大祭」でも日頃の練習成果を披露し、打ち囃子の巡行では台車の飾りつけを保護者で行い荒祭りに癒しを与えています。

「巡行の際、『メンバー紹介して』というおじいさん、おばあさんのリクエストに応え『屋号』や『祖父母の氏名』を発表すると『ああ～〇〇さい（〇〇さんの家）の孫かあ』と歓声が上がりますよ」と鈴木さん、「子供たちも、自分のことを知ってくれているという安心の笑顔が咲き、このような場面でも世代間の交流ができていなぁと感じますね」と続けます。

演題の復活をめざして

「何十年とこのような風景が続いてきたことに感謝ですし、今後も継承されていくことを願っています。しかし、児童数の減少から子供会育成会の合併やスポ少への参加など親も子も忙しい現状があり、太鼓の演題を減らしてきたのも事実」と課題を語る中、「しかし、活気ある打ち囃子を経験している保護者から、『やらなくなった演題を復活させよう』という動きが出てきたんですよ」と今後の活動に明るい兆しが見えてきた様子。

最後に「地域の方々のご協力ご支援のもと上折壁子供打ち囃子保存会が成り立っていますので、今後もこの活動を通じ地域の活性化に貢献していきたい」と語っていただきました。



発表や練習の合間に、「仲間とおやつを食べるのが楽しい」と次女の舞さん

地域 紹介



三浦信雄さん（下段中央）
と銅谷民区の皆様

～基本情報～

- ◆区長：三浦信雄さん（2期3年目）
- ◆銅谷民区は、220世帯520名が暮らし、行政機関や事業所等が多い一関地域の中心市街地に位置しています。2015年花いっぱいコンクールでは、最高賞の市長賞に輝きました。

中心市街地の特性を活かした地域活動

設立37周年、銅谷民区のあゆみ

山目・銅谷民区は、一関市役所の向かい側に位置する住宅密集地で、医療・飲食店等の各種事業所が25か所と充実し、行政機関や市街地の主要道路が隣接しているため、人や車の往来が活発な地域です。今回は、区長である三浦信雄さんに、民区で行っている活動についてお話を伺いました。

銅谷民区は、昭和53年に「山目4民区」を5つに分区（銅谷、前田、三反田1区、三反田2区、5区）して誕生した民区です。当時、東京から山目に引っ越していた三浦さんは、青年部、総務での活動を経て、平成25年に区長に着任。民区は一世帯年4,800円の区費やその他の収入により運営され、文化部・体育部・衛生部・防犯部・青年部・防災部の6部会を置いて、子供みこし、夏祭り・盆踊り、運動会、防災訓練等の事業を展開しています。

災害時において迅速に情報収集するための工夫と、市街地ならではの環境美化活動

現在の組織になったのは、平成21年、防災活動を強化するため防災部を新設したことでした。防災部が主催する年1回の防災訓練では、災害本部の設置から、各部がそれぞれ係を担当し、情報収集訓練（体育部、班長）、初期消火訓練（衛生部）、避難誘導（防犯部）、救出救護訓練（青年部）【消防署によるセミナー、心肺蘇生法、AED操作】、給食給水訓練（文化部）を実施。緊急時は班長が各世帯の安否確認を行います。情報収集に効果を発揮しているのが「安否確認票」と「旗による安否表示の取り決め」です。

安否確認票は、民区独自で作った黄色いA4サイズの様式に、住所、世帯主、家族構成（人数・年齢）、動物の状況、連絡事項を記入し、訓練当日に玄関に貼り付けることで各世帯の状況を共有。「安否確認票を

書くことで、直接訓練に参加できない方も参加した気分になってもらい、防災意識の向上に繋がれば」と三浦さん。旗の表示は、地震等で災害が発生した場合、玄関に旗をつけて安否状況を知らせる方法で、黄色い旗は「家族は無事」、赤い旗は「助けが必要で、救助をお願いする」などの方式を定着させています。

また、環境美化活動として、まち中に緑を増やし道行く人の目の保養にしておうと、ハンギングバスケットを民区内の道路51か所に設置。9年前から始めた取り組みで、共同作業により住民同士の交流の場づくり、散歩する人を増やし、防犯・交通安全の効果を期待します。「銅谷民区は狭い路地（旧秋田街道）が多いので、通行の邪魔にならないハンギングバスケットはちょうど良い」と三浦さんは語ります。2015年度の花いっぱいコンクールでは、市内169点の応募作品の中から最高賞である市長賞（まちなか部門）を受賞。その地形や環境に合わせ、住民が参加しやすい仕組みをつくり、花つながりにより、人の輪が広がり、それがいくつもの効果を生むというところに、地域の方のアイデアや企画力の高さを感じます。

高齢者が住みやすい地域であるために

今後の活動について三浦さんは、「高齢者社会を迎え、現在70歳以上の方が110名おり高齢者が住みやすいまちづくりを考えた場合、住民が気軽に集まり情報交換や憩える集会所があったらと思います。さらに、語り合う共通の話題として、銅谷に住む高齢者から昔の話を聞き、民区の情報誌を発行したいと思案中です」と抱負を語っていただきました。

ハンギングバスケットは、道行く人を癒し明るい気分させてくれます



企業 紹介



局長 高橋 圭さん

～基本情報～

- ◆局長：高橋 圭さん
- ◆連絡先：〒029-0303
一関市東山町松川字町裏 64
- ◆電話：0191-48-2150
- ◆FAX：0191-48-2151

地域で唯一の金融機関として、地域になくってはならない存在へ

「はなしかだり」の場所として

東山町松川にある松川町郵便局は、明治34年から続く歴史ある郵便局。昭和63年10月に現在の場所に移転したこの建物で働くのは、局長の高橋さんと2名の従業員の方。営業時間は9時から17時ですが、その間にもたくさんのお客さんがやってきます。

松川町郵便局の局長を務める高橋さんは、生まれも育ちもここ、東山町の松川。「地域に貢献しているという意識はそれほど強くはありませんが、地域のみなさんのおかげで今日まで来ている」と語ります。利用者の9割以上が松川の地域の方というこの郵便局では、局長さんの自宅や家族構成まで分かっている顔見知りの方がほとんど。そのため、とても安心感があると言います。「貯金を積んだり下ろしたりするだけならATMで十分」と語る高橋さんの元には、地域の誰が亡くなった、誰が入院した、というような情報がたくさん集まってきます。お客さん同士も顔見知りで、手続きが終わった後にもかかわらず、話し込んでいることもあるそう。そんな高橋さんに、郵便局と地域との関係についてお話を伺いました。

郵便に関する知識は地域でも役に立つ

実は高橋さんは、様々な団体の役員を引き受けており、松川小学校の閉校式では実行委員長を務めるなど、松川の地域の住民からの信頼が厚い方です。「赤い振込用紙はもらう側が手数料を負担しますが、青い振込用紙は送る側が手数料を負担します。どの手段を選ぶかについて、会議に私が参加していれば一番効率的で良い方法を選択することが出来ます。例えば、大きな文集を郵送するとき、大きな封筒ではなく、レターパックを使用することを提案した事もありました。たま

には別の案が採用されることもあります。郵便局の商品のPRにもなりますし、郵便局って便利なお店だよなという意識を持ってもらえれば」という言葉からは、郵便局での勤務で得た知識や経験が、地域で活動している様々な市民活動団体の活動に生かされていることが伺えます。「松川には、様々な市民活動団体があり、その団体名義の口座も多くあります。会費や事業費の管理をして頂くうえで、松川で唯一の金融機関である松川町郵便局がなくなると、隣の地域の長坂や薄衣まで足を運ばなくてはなりません。地域を守るためには、郵便局を地域に組み込んでもらう必要があります」と高橋さんは語ります。

地域の方が気軽に相談に来られる郵便局へ

地域に住んでいる高齢者の中には、年金に関する行政からのハガキや通知を読んで、添付書類や記入内容についてどこに聞けばいいのか分からない方も多くおり、そんな方の多くは郵便局に相談にやってきます。「金融弱者と呼ばれる高齢者のお世話をすることで、郵便局にお世話になっているという事がその子供の世代や孫の世代にまで伝わり、結果的に郵便局を使っていくことにつながる、そんな波及効果があると思います」と語る高橋さんの元には、さっそく松川市民センターの所長さんからの別件の相談が。「退職した後も、OBとしてではなく、利用者として、郵便局が存続してほしい」と笑顔で語ってくれました。



地域に愛される松川町郵便局



センターの〇〇!

— いちのせき市民フェスタ15 —

一関市内の市民活動団体や個人、社会貢献活動を行う企業などが年1回集まり、市民のまちづくりへの多様な参加の促進と交流を図りながら市民主体による地域社会の活性化を目指す「いちのせき市民フェスタ15」が、8月23日に開催されました。今年で10回目というひとつの節目を迎えた市民フェスタは、過去最高55団体の参加とおよそ500人の来場者で賑わいました。主催者、ブースやステージの参加者それぞれが様々な企画で来場者を楽しませようと奮闘した1日を振り返りレポートします。

ステージ部門



発表

大正琴で始まったステージでの発表には、他にも詩吟からスポーツ吹き矢や笑いヨガのデモンストレーション、ギターにあわせての唄、マジックショー、日本舞踊、フラダンスまでたくさんの団体に出演していただきました。出演者と観客に一体感が生まれ、会場はとてもよい雰囲気に包まれていました。

体験・販売ブース



体験・販売

会場では総勢40を超える団体がブースを構えました。活動内容の展示はもちろん、飲食や物販、各種体験やアトラクションなど内容もバラエティ豊富。スタンプラリーが開催されたり、10周年ということで「10」にちなんだ企画を展開したところも。団体について知り、交流するきっかけになりました。

ご当地キャラクター大集合



ご当地キャラ

一関では地域ごとにいるんなキャラクターが活躍していることもPRしようと昨年から始めた企画です。今年も、ゲイビマンとおもっちも参加し、会場を盛り上げてくれました。着ぐるみボランティアでは一関商工会議所青年部川崎支部さんやたくさんの中高生の方々(※)にもご協力いただきました。

いちのせき市民モデルコレクション



イチコレ

おそらく市内初の市民モデルファッションショーとして昨年から始めたイチコレ。ステージ発表やブース出展の団体だけでなく、市民の皆さんが主役になれる企画です。今年のテーマは「私の一張羅」！それぞれこだわりの衣装とパフォーマンスでランウェイを歩き、会場を盛り上げていただきました。

※ご協力いただいた中高生ボランティアの皆さん(順不同)

小梨ジュニアリーダークラブポランベさん、ひがしやまジュニアリーダーズクラブハピクロさん、一関修紅高等学校さん

担当者より参加者へコメント

当日は小雨模様の中でしたが、数多くの参加団体、ご来場いただきました市民の皆様のおかげで盛況のうちに「いちのせき市民フェスタ15」を開催する事が出来ました。感謝申し上げます。事前の準備段階、当日の運営、終了後の撤収と一連の流れの中で感じたことは、いちのせき市民活動センターは各団体・行政・地域の皆さんに支えられているという事です。今後も11回目以降の市民フェスタをより充実したものにしていきたいと思います。みなんで盛り上げていきましょう！

おしらせ

センター まちづくりコーディネーター 養成講座

第4回となる今回の講座は、助成金申請の心得について。実際の事業にあたって資金調達が必要な場面もあるでしょう。財源の1つ「助成金」の基本的な知識や探し方、申請方法を学びます。

【日時】平成27年10月3日(土)9時20分~12時

【場所】なのはなプラザ4階共同会議室

【料金】2,000円(全6回)

【問合せ】いちのせき市民活動センター

【電話】0191-26-6400

センター Hana 金!

参加者同士の自然な会話・交流の中で、お悩みの解決策を探ったり、企画を膨らませたりしていく、新しいようで自然な空間です。誰でも自由に参加出来ます。話したい人はもちろん、聞きたい人も!今回は「成果自慢大会」♪

【日時】平成27年11月20日(金)18時45分~21時

【場所】せんまやサテライト

【料金】300円(コビル・ドリンクつき)

【問合せ】せんまやサテライト

【電話】0191-48-3735

センター みちのくワークショップ フォーラム 2015

実際にワークショップの達人たちの技術を体感し、より有用な手法を身につけていただく機会として、1年に1度、ここ一関にお集まりいただいています。あなたの活動をパワーアップさせるヒント盛りだくさんな空間へ、ようこそ!

【日時】平成27年12月5日(土)受付8時30分~

【場所】なのはなプラザ2・3階

【料金】2,000円

【問合せ】いちのせき市民活動センター

【電話】0191-26-6400

千厩 千厩きもの物語

虫干し感覚で千厩のまちにおでかけしませんか?着付け舞鑑賞、琴演奏会、馬車に乗って本町通り散策、着物掘り出し市等、着物を愉しむのにぴったりなメニューをご用意しております。

【日時】平成27年10月10日(土)受付9時30分~

【場所】酒のくら交流施設

【料金】500円(集合写真、馬車乗車券付)

【申込・問合せ】千厩着物虫干し会

※申込締切10月6日(火)

【電話】0191-52-2043(伊藤)

一関 いわいの里ガイドの会 語り部の会

一関地方に伝わる民話や伝説を地元言葉で語り継いでいる「いわいの里ガイドの会」の語り部が、素朴な語り口で民話の数々をご紹介します。歴史ある沼田家武家住宅で、地域に伝わるお話を耳を傾けてみませんか。

【日時】平成27年10月9日(金)10時開演

【場所】旧沼田家武家住宅

【料金】無料

【問合せ】旧沼田家武家住宅

【電話】0191-21-8188

一関 ハロウィンパーティ2015

皆で仮装して盛り上がりましょう!トリックオアトリートや仮装コンテストなどお楽しみがいっぱい。楽しく愉快な夜を一緒に過ごしましょう。※小学生は保護者同伴でお願いします。※参加者は仮装をお願いします。

【日時】平成27年10月30日(金)受付18時15分~

【場所】山目市民センター

【料金】無料

【問合せ】一関世代にかける橋

【電話】0191-23-9721(橋本)

全域

市内イベント一覧

雨といきもの展 【期間】平成27年9月5日(土)~10月16日(金) 【場所】北上川学習交流館 あいぼーと	2015 一関市障がい者福祉まつり 【日時】平成27年10月4日(日)10時~14時 【場所】サン・アピリティーズ一関/一関武道館	一関・平泉バルーンフェスティバル 2015 【期間】平成27年10月10日(土)~10月12日(月) 【場所】一関水辺プラザほか
東日本合唱祭 【日時】平成27年10月10日(土)13時開演 【場所】一関文化センター大ホール	一関市民オーケストラ第15回演奏会 【日時】平成27年10月12日(月)14時開演 【場所】一関文化センター大ホール	ご当地グルメ in 大東 【日時】平成27年10月18日(日)11時~14時 【場所】四ツ角特設会場(大東町溜沢)
室根神社特別大祭 【期間】平成27年10月23日(金)~25日(日) 【場所】室根神社	いす-1 GP 【日時】平成27年10月24日(土)12時30分~ 【場所】一関市大町(一関おまち商店街特設コース)	火渡祭 【日時】平成27年10月25日(日)13時~ 【場所】御嶽山御嶽神明社

今月の表紙



藤沢町保呂羽地区の「ほろはの家」です。築150年の古民家が農家民宿として生まれ変わり、国内だけでなく海外からも人が集まるそうです。今年の春と秋には地域の手作りお菓子や工芸品を集めた古民家マルシェの会場として多くの人で賑わいました。

Q&A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q センターのスタッフは全部で何人いるの?

A いちのせき市民活動センターには、一関・花泉・東山・川崎の地域を担当する「一関市大町のはなのプラザ4階の事務所」と千厩・室根・大東・藤沢の地域を担当する「千厩町千厩のせんまやサテライト」の二か所の事務所があります。一関の事務所には5名、千厩の事務所には3名のスタッフが支援員として地域のサポートをしています。

